No.	3	—	15・16・17・18・19・20	—	1

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和4年（2022年）5月１６日

作成者： （課名） 市民協働推進課

（氏名） 酒井喜久

１　基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市良元地区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 ４．安心・安全なまち
	【具体的な取り組み】 防犯 15 　アトム110番連絡所の定期的な情報交換の場を作る 16 　アトム110番連絡所の場所を見直し、空白地域がないように設置を働き掛ける 17 　アトム110番連絡所利用の模擬体験を実施する 18 　すみれマップ良元版を更新し、各所にすみれマップを設置する 19 　防犯パトロール実施グループの連携と情報共有を図る 20 　自治会や近隣で、日常の生活の中で、子どもの見守り活動を行う
取組内容の関係課	青少年センター

２　対話の状況

（１）実施概要
ア　日時：　令和４年（２０２２年）３月２５日（金）　13：30～15：00 イ　場所：　くらんど人権文化センター　大ホール ウ　出席者：　以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 良元地区まちづくり協議会　●●会長　外１９名 ＜関係課＞ 青少年センター　三木課長 毛利係長 ＜協働の取組推進担当次長＞ 中村部長 ＜市民協働推進課＞ 酒井
（２）確認できたこと
ア　令和３年（2021年）12月22日付けで提出された「推進シート」（別紙1）に添附されていた①アトム110番連絡所の現状一覧（73か所）、②10項目の質問と4項目の提言（後日、2項目の質問と２項目の提言が追加）を事前に青少年センターに送付し、その回答（「良元地区まちづくり協議会と市との「対話」資料（アトム110番連絡所）」（別紙2）を対話の当日に順次説明し、質疑応答する形で、内容を確認していった。 イ　令和4年4月16日に良元コミュニティから、「子どもたちの安全を守るネットワーク会議　報告」（別紙3）が提出された。 ウ　「対話」を通して「アトム110番連絡所」の担当者から目的や現状を直接聞くことができ、良い機会であったとの評価を得ている。 エ　今後に向けて、良元コミュニティから青少年センターへ、引き続き「アトム110番連絡所」の周知に努めることと、更新手続きの徹底やパトロールの充実を要望した。 オ　良元コミュニティにおいては、「アトム110番連絡所」を地域が協力して新規開拓していくことや、子供たちに「アトム110番連絡所」の所在を知ってもらうための取組等を進めていくこととした。

別紙１

地域ごとのまちづくり計画推進シート

提出日：令和　３年（２０２１年）１２月２２日

（市民協働推進課経由）
協働の取組推進担当次長　宛

まちづくり協議会名称：　良元地区まちづくり協議会

代表者氏名：　中　義昭

１　地域ごとのまちづくり計画の該当箇所（計画に記載している内容を転記してください）

【基本目標】
まちづくり計画書４．安心安全なまち

【具体的な取り組み】
まちづくり計画書 15・16・17・18・19・20
「アトム 110 番連絡所」の取り組みをより良いものにしたい。

※　地域ごとのまちづくり計画書の　９　ページに記載

２　この取組の連絡窓口（氏名、所属（部会名）、連絡先）

（１）氏名
●●　●●

（２）役職・所属する部会名等
●●

（３）連絡先（電話番号、メールアドレス）
電話番号：●　　携帯番号：●
メールアドレス：●

※ 次ページに続く

3　「具体的な取り組み」について

目的・課題、内容についてご記載ください。

【目的・課題（どのような地域課題があるか）】

【記載例】

・●●地域には「■■～～～■■」という地域課題がある。地域ごとのまちづくり計画に記載している「▲▲～～～▲▲」を実現することで、▼▼が推進され、地域課題の解決につながると考えている。

地域の子どもたちの安全を守る活動をするにあたり、既に実施されている宝塚市の「アトム110 番連絡所」が、どのように地域に根ざしているのかを調べた。

現状：①プレートの色が剥げていて、見えない。子どもの目線に設置していない。

②登録者が明確でないところがある。

③子どもに危険が迫っている時に、逃げ込みにくいところが多い。

④更新方法が、的確ではない。（一方的に更新の手紙が届き、返事がなければ更新とみなす？）

⑤そもそも、子どもたちが理解や周知する仕組みになっていない。

【内容（何をするのか、いつするのか等）】

【記載例】

・「計画の内容を実現するため、●年●月頃までに■■を実施したい。」

・「計画内容の実現に向けて、まずは行政の関係課と協議を実施したい。」等

※　既に取り組んでいる事業の場合は「これまでの取り組み」や「これまで対話を進めてきた関係課及び対話の状況」等もご記入ください

①「アトム110 番連絡所」について、現状を行政と地域が共通認識として理解する。

現状の改善ができることは、何かを行政より説明を受ける。

なぜ、既存の仕組みが、形骸化しているのかを行政より説明を受ける。

また、時代にあった子どもの安全を守ることは何かを協議する。

②子どもたちの安全を守るために、何をすればいいか、行政と地域で協議する。

上記のテーマでの行政と地域住民との意見交換会を実施希望します。

（候補日）2 月10 日(木)又は24 日（木）

（開催時間）13 時30 分～15 時

（会場）くらんど人権文化センター　大ホール

良元地区まちづくり協議会と市との「対話」資料（アトム110番連絡所）

対話年月日：令和4年（2022年）3月25日

良元まち協からの質問と提言		市青少年センターのからの回答
1　当初質問と提言		
（1）質問		
ア	目的は何か？	事業の目的は以下の3点です。 （ア）子どもたちの生命を市民の手で守る。 （イ）危険を感じ、「アトム110番連絡所」に逃げ込んできた子どもたちを守る。 （ウ）多くのおうちやお店にプレートを貼ることで、防犯に対する市民の意識を高める。
イ	現状を把握できているのか？	市内約1,960軒の登録があり、全て名簿で管理しています。一部、事業開始当初は希望する地域に一括して配布したため、名簿に記載されていない連絡所があり、判明した時点で改めて正式登録いただく等お願いしています。
ウ	過去の利用されたケースを知りたい	（ア）平成28年夕刻、不審な男に後をつきまとわれた男児が、郵便局（市内全郵便局が連絡所になっている）に駆け込みました。 （イ）平成30年朝、公園で変死体を発見した女児が怖くなって公園近くの連絡所に駆け込みました。 （ウ）その他学校帰り等にトイレが我慢できなくなり、トイレを貸してくださいという子がいるという話をよく聞きます。
エ	今後についての考えがあるのか？	子どもの安全を守るために、「アトム110番連絡所」は重要な取組だと考えており、継続して事業を実施していきます。
オ	この制度以外に市として、子どもの見守りへの対応はされているのか？	全小学校から下校時間を青少年センターへ報告し、その時間に合わせて青少年センター2台、防犯交通安全課1台の青色回転灯装備車で下校パトロールを実施しています。 学校教育課から防犯ベルを貸与しています。 防犯交通安全課では、見守り団体へアトム110番のタスキを貸与しています。 また教育委員会が委嘱している青少年補導委員の方々は、地域の子どもの見守り活動を行ってくれています。
カ	学校は、この制度をどうとらえているのか？子どもたちへの周知方法は？	各学校では、毎年4月新入生・新入生家庭向けにアトム110番に関するチラシを配布して周知を図っています。
キ	教育委員会は「アトム110番」をどう捉え、小学校に指導しているのか？	教育委員会では本事業について、市民との協働の事業であり、子どもたちが安全に過ごすためにも必要な事業であると考えています。また、子どもたちが市内で安全に過ごすためにも必要な啓発活動と考えています。

良元まち協からの質問と提言		市青少年センターのからの回答
ク	良元以外のまち協の関わり方について知りたい	仁川まちづくり協議会では、毎年会議を行い、地域の安心安全に関する情報交換を実施されています。青少年センターも出席しています。 高司小学校PTAが地域の事業所へアトム110番連絡所への協力をお願いし、リストを青少年センターへ提出、青少年センターが事業趣旨や概要を直接説明し、了解を得られた事業所に新規登録していただいています。 その他、自治会で申し込みをされ、各区画に1軒連絡所を設置してくださっている自治会が複数あります。
ケ	子どもたちの安全を守る情報共有の意味で、まち協から登録者へイベントの案内など交流ができるのか？	案内文や通信費等について準備をいただければ郵送等は青少年センターで対応できます。
コ	アトム110番以外に市内で、行われている子どもの見守り活動を知りたい。また、どんなマークなのか？（例歯科医・理髪店他）	歯科医等で子供110番の取り組みはあります。 兵庫県下では兵庫県警と兵庫県の共同で「子どもを守る110番の家･店・車ネットワーク会議」が毎年開催されており、「110番の店」については尼崎信用金庫、兵庫県病院薬剤師会、兵庫県理容生活衛生同業組合等90の事業所が参画しています。なお、「110番の車」には424団体、「110番の家」については約56,000軒設置されています。
（2）提言		
ア	登録者の見直しを実施してほしい（主旨を理解してもらう）	問題が起きた場合などは対応が必要と考えていますが、それ以外の場合は、本事業の趣旨はボランティア制度であるため、自発的な辞退をお願いすることになります。事業の趣旨については、新規開設や更新のお願いの際に、文書でご説明することにしています。
イ	コンビニや病院、介護施設などの人が必ず居て、入りやすいところにお願いできないか	商工会議所の広報紙などを通じて積極的に周知を行っています。地域の皆様からも設置場所について情報提供いただければ、青少年センターからも働きかけを行っていきたいと考えています。
ウ	子どもたちと保護者への周知を徹底してほしい	新入学・新入園の全家庭に「アトム110番」に関するチラシを配布し、取り組みをお知らせしています。また一斉防犯活動等の集団下校などのタイミングで、通学路上のアトム110番連絡所を子どもたちと確認する等のお願いを各校にしています。
エ	そもそも、この制度は継続できるのか？	PTA、自治会、その他地域の活動、ボランティア活動自体の継続が年々難しくなっている状況ではありますが、本事業の目的も踏まえ、現在の形で継続していきたいと考えています。

良元まち協からの質問と提言		市青少年センターのからの回答
２　追加質問と提言		
（１）質問		
ア	市で管理されているアトム110番連絡所の登録数より実際に実地調査をして看板を確認した数の方が多いのはなぜですか？その方たちには、どのような形で、更新の連絡がいくのか？	アトム110番連絡所事業が始まった当時は、希望する地域に一括してプレートの配布をお願いしていました。その後、名簿で設置場所を管理するようになり、現在に至ります。このため、地域での実地調査による確認数と違いが生じているものと考えています。、青少年センターでは、パトロール時などで薄くなったプレートを確認したときに名簿と照らし合わせて確認するようにしており、名簿に記載のない場合は、新規登録という形で登録をお願いしています。
イ	登録場所によっては、子どもが逃げ込みにくいところがあるが、確認はしないのか？	新規開設や交換のタイミングで、プレートを貼り付ける場所について「子どもから見えやすい場所」に貼っていただけるようお願いをしています。また、新規開設の際、「子どもたちがいざという時に安心して駆け込めるように、玄関口に犬を放し飼いにする等ということのないようご配慮ください。」という文言を添えています。
（２）提言		
ア	「アトム110番連絡所」市から更新のお手紙を出す場合、現状の更新の場合は何もしないなら更新となるが、更新するに丸を付けて返信してもらうなど意志確認を明確にしてもらいたい	返信いただけない場合の更新の可否等の判断をどのように行うのか等の課題もあり、現段階では、現状のままお願いしたいと考えています。空き家等になっている場合は、配付している学校やPTAから青少年センターに連絡が入り、直接青少年センターが家庭訪問、居住状況等を確認し、場合によっては手紙を投函したうえでプレートの撤去を行っています。 今後、更新のお手紙に工夫を凝らし、連絡所の意識高揚に努めていきます。
イ	既存の子どもの見守り活動をしている地域ボランティアの存在にもっと光をあててほしい	今後は地域ボランティアの活動についても、青少年センター機関誌「わかば」での紹介や、地域での会議（スクラム会議やその他学校や地域、自治会等での会合）で制度や地域での取り組み事例を紹介させていただきます。

別紙３

「子どもたちの安全を守る」ネットワーク会議　報告

◎日時：2022 年３月 25 日㈮13 時 30 分～15 時
◎会場：くらんど人権文化センター　大ホール
◎参加者数：20 人（地域住民・良元小 PTA・補導員　他）
◎行政側出席：４人（宝塚市青少年センター2 人、まちづくり計画推進担当１人、市民協働推進課１人）
◎開催目的：子どもたちの安全を守るために何ができるのか？
2020 年３月策定の「まちづくり計画書」のフォローアップを行い、今回は、「アトム 110 番連絡所」に着目し、地域住民と行政の情報交換を通して、共通認識を持ち、今後の有効な活動に生かす

◎内容：①良元コミュニティ活動を映像で紹介（中会長）
伝統文化のある地域、世代間交流の様子などの活動紹介

②「アトム 110 番連絡所」について、現状把握した際の疑問や質問、提案を事前に、担当部署である宝塚市青少年センターへ提出し、本日配布された回答書を基に、詳細な説明を受ける

③質疑応答・意見交換（⇒回答）

- 地域の巡回の中で、プレートの交換などをしていただいていることがわかった。巡回の頻度はどのくらいか？
  ⇒青少年センターは、主に突発的な通報などで、出向くことが多く、その合間の空き時間に回っている。頻度はまちまちで定期的ではない。
- 「アトム 110 番連絡所」の目的について、駆け込んだ子どもを一時的に保護して、警察に通報することが目的で、犯人を捕まえるわけではない。そのことが、説明文では分かりにくいと思った。
  ⇒開設要項では詳しく記載している。開設される方には直接説明している。
- 市の組織（防犯交通安全課など）や市教育委員会、独自で実施されている業種団体など連係がうまく取れていないと思う。始められた経緯を知らない担当者もいる。役割分担などを明確にしてほしい。
  ⇒毎年、活動の記録は保管している。最近の取り組みは、データで引き継ぐようにしている。
- 見守りボランティアをしてくれている人たちなど、先進的な取り組みをしている所の情報をもっと取り上げてほしい。小学校では、見守りボランティアをすべて把握していないという現状がある。啓発してほしい。
- 青いパトロール車が、３台しかない。良元小学校界隈では、あまり見かけない気がする。パトロール車を増やさないのか。台数が多いほど抑止力になると思う。
  ⇒パトロールの区域分けは、右岸・左岸東・左岸西・西谷の４か所を学校の下校時間に合わせて行っている。下校時間がだいたい同時間のため、タイミングよく回れていないこともある。路地の隅々まではできていないかもしれないが、不審者情報などが出たら、他の車も出して、

そのエリアを重点的に回ったりしている。今後も車を増やす申請は継続していきたい。

・良元コミュニティの地域は、福祉事業所やコンビニがたくさんある。「アトム 110 番連絡所」の登録依頼ができると思う。地域が協力して、開拓できることが分かった。
　⇒元々、市民主体のボランティア活動を条件で、「アトム」を使える。青少年センターが協働でお手伝いしている形。登録を希望されている事業所があれば、紹介者より、青少年センターが行く旨を事前に伝えてほしい。
　市民側と行政が、対話を通じて、解決していきたい。共に進めていきたい。
・更新の方法について、毎年の更新ではなく、3～5 年ごとに実施したら、負担が少ないのではないか。
　⇒更新の際、登録者より辞退や転居の連絡は、たくさん連絡をもらっている。きちんと更新をしている登録者は多い。
　プレートの交換は、今年度は１００ヶ所ほどしている。
・プレートの在庫はあるのか？
　⇒200 以上ある。
・「アトム 110 番連絡所」看板も目的も知ってはいるが、いざどこにあるのかわからない。何かを見れば場所がわかるのか？
　⇒宝塚市のホームページから「すみれ防犯マップ」を検索できる
・自分の子どもが「アトム 110 番連絡所」のことをどれだけ理解しているのか、確認したことがない。
・「アトム 110 番連絡所」があり、地域の支援で成り立っていることを知れた。感謝している。
・「アトム 110 番連絡所」をもっと周知する方法を考えていかないといけないと思った。

１．本日の「子どもたちの安全を守る」ネットワーク会議はいかがでしたか？
①大変良かった４　②良かった８　③あまり良くなかった０　④良くなかった０
⑤その他

★感想・ご意見などご自由にお書きください。
・改めて「アトム 110 番連絡所」の目的を認識し、引き続き取り組みを継続していきます。
・青少年センターが、「アトム 110 番連絡所」の対応をされているのを知らなかった。
・担当部署としての継続への想いも聞けてよかった。
・もっともっと周知されるように地域として協力したい。
・プレートは目にするものの、利用されているのかな？と思っていた。
・子どもたちからは、トイレの駆け込みも時々あるとの事、案外プレートがあれば、入りやすいのかとちょっと安心した。
・学校からどなたも来られないのは残念です。問取り組みでも、「アトム 110 番連絡所」を必要とする　児童が通う学校側の意見や感想を聞きたかったです。
・青少年センターの話が良く理解できた。
・改めてくわしくお話を聞けて良かったです。
・新しく「アトム 110 番連絡所」をつけてくれるような場所を見つけたいです。

２．今後このような会の開催があれば参加しますか？

①参加する１２　　②参加しない０　　③その他０

★今後参加したい会の内容などご自由にお書きください。（会場・時間帯など何でも構いません）

・防災、とりわけ地震が必ずくると言われている。南海・東南海への対策

・阪神淡路大震災を経験した私たちは忘れてはいけない。

３．子どもの安全を守るために、あなたができる事がありますか？

該当することに丸印をお書きください。（複数回答可）

①良元小学校登下校の旗当番３　　②アトム１１０番連絡所の登録２　　③見守りパトロール２

④地域の安全確認のためのタウンウォッチングへの参加９　⑤情報交換会や勉強会などへの参加８

⑥良元小学校登下校時に合わせてペットの散歩などで家の外に出て子どもの安全を見守る５

⑦その他（　　）

４．今後の活動の際にお声かけしてもよろしいでしょうか？

①はい９　　②いいえ

★全体についてご意見などご自由にお書きください。

・子どもの安全を地域で見守っていきたいと思います。